

# 学校評価の自己評価

学校法人坂本北海道学園

ピノキオ苫小牧幼稚園

エンゼル幼稚園

## 1. 園の教育目標

「子どもの全面発達」を促しながら、

一人ひとりの子どもの個性を大切にし その「可能性」を伸ばします。

そのために、毎日の生活を 次のことに留意して過ごします。

1. のびのびと遊び、本物に触れ 感動する心と豊かな情操を育みます。  
(素直でやさしい心を育てましょう。)
2. 健康な体をつくります。
3. 自分で決めたことは最後までやり通し、自分に自信をつけます。(4歳以上児)

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自分の保育や自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とします。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
年間指導計画は、子どもの実態などをもとに考えて作成しましたか。	毎年年度末に全教員で反省会を行い、翌年度のはじめに指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めました。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じましたか。	教師は日々子どもの記録を参考にして子どもの実態を把握し、日案の作成や指導計画の更新に反映させるようにしました。
全体で行う教育行事を通して各クラスや学年の経営成果を発表しあい、お互いに切磋琢磨しましたか。	各クラスや学年で月や週の目標を定め、教育行事ごとに達成状況を発表し合うようにしました。
子どものよさを認めて評価しましたか。	自由遊びや合同保育の時間にクラスの枠を超えて一人ひとりの子どもの良さを認め具体的に評価するよう心掛けました。
遊びを通して工夫したり協力したりする姿を大切に、子ども達の輪が広がるようにその環境作りに心掛けましたか。	自分でお友達と関われない子どもには教師が積極的に集団遊びの輪に誘い、そこを発展させて友だちと協力して遊べる環境を準備するようしました。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活

導を行いましたか。	習慣の獲得を促しました。長い休み期間は各ご家庭へ生活のリズムを守るよう協力を呼びかけました。
公開保育を行い、教員資質の向上をはかりましたか。	夏休みと冬休みに公開保育を行い、お互いの保育を見合うことによって、保育環境の向上をはかりました。
各研修会や研究会に積極的に参加して、研鑽をつみましたか。	各種研修会や研究会に参加し学んだことをレポートにまとめ、自身の研鑽に努めました。また、必要な時はその内容を他教員と共有するようにしました。
園だよりやホームページを通して、幼稚園の情報を発信しましたか。	園の教育方針や取組みを情報発信するように、園だよりに記載したり、ホームページに保育活動の写真を掲載したり積極的に取り組みました。
自然災害に備えた防災教育に取り組みましたか。	北海道シェイクアウトに参加し、なるべく色々な保育場面での対応を子ども達共に体験し、防災教育に努めました。 また、防災米を子ども達と作り試食するなど体験型での防災教育に努めました。
最近の発達支援を必要とする幼児数の増加傾向に合わせて、発達支援教育を充実させましたか。	これまでも発達支援教育については苫小牧市のおおぞら園と協力して、積極的に進めてきたところですが、今年度は中堅教員等資質向上研修の内容が非常によく、出席教員が自園で公開保育研修の折発表し、全教員にとっても日々の保育の中で大変参考になり、充実しました。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	毎月の学年会議や毎週の周案会議などで子ども達の状況を教師が相互に共有し、次の保育内容や指導の評価に取り組んでいました 施設面では新しいアスレチックが設置され、ピノキオ園庭が広くなると共に珍しい草花の咲く庭も整備され、子ども達がたくさんの花や木々に包まれ過ごせる環境が整いました。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
不審者等の対応マニュアルの作成等	不審者対応について、子ども達の安全確保のために全教職員が合理的に行動できるようにシステムを構築したいです。
食育教育のなお一層の充実	現在、給食はエクストラバージンオリーブ油を全料理に使用し、お米は北海道産ゆめぴりかを使用し、化学調味料はなるべく使わず薄味で素材の味を大切にするなど、調理面では努力してきましたが、今後は子ども達に分かりやすく食育教育をするべく、食育アドバイザーを有効利用するなど、教育の面からも健康増進に努めていきたい。

以上 2020年3月31日 現在